

事務事業名		大船渡魚市場整備事業		☒ 実施計画登載事業		☒ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		予算科目				
	施策名	19 地域活力を担う水産業の振興				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	05 水産物の流通加工体制の強化								
根拠法令				☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始 年度～) ☒ 期間限定複数年度 【計画期間】 ↓ 平成11 年度 ～ 平成27 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		12 01 01 01 01				
所 属	部課名	農林水産部水産課								
	課長名	鈴木満広								
	係 名	漁政係	電話							
	担当者	金野道程	内線	372						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)				
老朽化した大船渡魚市場を高度な衛生管理に対応した施設として整備する。また、魚市場施設内に市民や観光客向けの活性化施設(展示施設、飲食施設等)を併設し、地域活性化に資する。 県事業として埋め立て工事を行った旧魚市場北側の公有水面約2haの埋立地に、第1期工事として平成20年度から平成25年度に、県と市の共同工事により、人工地盤と魚市場施設を整備した。平成26年度には旧魚市場を解体し、その跡地に第2期工事として魚市場別棟の荷捌所を整備する。平成27年度完了。 平成16年度 魚市場施設の基本設計業務委託 平成17年度 展示施設の基本設計業務委託 平成18年度～19年度 実施設計業務(魚市場施設及び展示施設)委託 平成20年度～22年度 建設工事 平成23年3月11日 被災により工事中止 平成24年6月26日 工事中止解除 平成26年3月20日 第1期工事完了 平成26年4月 第1期開場 平成28年2月 第2期開場 事業費は、設計委託、工事請負費等に支出される。						総 投 入 量 (千円)	事業費	財 源 内 訳	国庫支出金	1,640,385
									都道府県支出金	2,238,535
									地方債	2,128,800
									その他	1,551,059
									一般財源	1,569,722
									事業費計(A)	9,128,501
									人件費	
正規職員従事人数	4									
延べ業務時間	30,000									
人件費計(B)	120,000									
トータルコスト(A)+(B)	9,248,501									

1 現状把握の部(DO)									
(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動)			⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
前年度実績(前年度に行った主な活動)			名称		単位				
・県、国への補助金申請事務 ・旧魚市場跡地において第2期工事(荷捌き所)施工。			ア 設計協議の回数		回				
			イ 工事日数		日				
			ウ 魚市場整備の進捗率(事業費ベース)		%				
今年度計画(今年度に計画している主な活動)			⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)						
・タイヤ洗浄槽施工。			名称		単位				
			カ 大船渡魚市場の面積(整備前)		㎡				
			キ						
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等			ク						
・大船渡市魚市場 ・漁業者、買受人、市場職員 ・一般市民、観光客			ク						
			⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)						
			名称		単位				
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)			サ 大船渡魚市場の面積(整備後)		㎡				
・高度な衛生管理に対応した施設になる。 ・新たな活性化施設になる。			シ 衛生管理市場認定件数		件				
			ス 活性化施設面積		㎡				
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)									
大船渡市魚市場に水揚げされる水産物が安定して高く売れる。									
(2) 総事業費・指標等の推移									
			年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千円	66,174	250,000	814,058	70,230	436,223	3,700
		都道府県支出金	千円	1,191,493	296,194	750,848	0	0	0
		地方債	千円	9,800	164,000	1,473,200	205,800	272,300	3,700
		その他	千円	4,186	651,318	797,236	96,055	2,264	0
		一般財源	千円	1,541,801	16,493	11,428	0	0	0
		事業費計(A)	千円	2,813,454	1,378,005	3,846,770	372,085	710,787	7,400
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	2	1
		延べ業務時間	時間	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	100
		人件費計(B)	千円	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	400
		トータルコスト(A)+(B)	千円	2,823,454	1,388,005	3,856,770	382,085	720,787	7,800
⑤活動指標		ア	回	10	18	24	20	60	5
		イ	日	0	230	300	240	350	90
		ウ	%	32	48	92	95	99	100
⑥対象指標		カ	㎡	9229	9229	9229	9229	9229	9229
		キ							
		ク							
⑦成果指標		サ	㎡	17004	17004	16484.03	16484.03	18886.25	18886.25
		シ	件	0	0	0	0	1	1
		ス	㎡	0	0	0	1,235	1,235	1235

事務事業ID	0584	事務事業名	大船渡魚市場整備事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？			
老朽化した大船渡市魚市場を整備するため、平成11年度に整備構想検討委員会を設置して、整備構想・計画づくりに着手した。			
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？			
魚市場の老朽化が進んでいる。また、産地市場における衛生管理や鮮度管理は、一層の充実が求められている。 東日本大震災により建設中の新魚市場施設が被災し、手戻り復旧工事が必要となったが、手戻り復旧工事費を増額して平成24年6月より工事を再開し、平成26年3月20日第1期工事が完了した。平成26年度から第2期工事としてサンマやイサダ専用の荷捌き所の整備に着手し、平成27年度に完成した。			
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？			
早急な整備とあわせ、関係者の使いやすい施設整備を要望されている。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価			
目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	新魚市場は水産業振興の中核となる施設であり、水揚岸壁及び荷捌施設の拡充は取り扱い可能な水産物の増加を目指すことができる。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	市が設置する公の施設であるため。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	公共施設の整備であり、対象・意図とも適正である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	整備後面積は設計段階で決定しており、震災による遅れはあったが、予定通りの完成となった。 整備面積は決定しているため、特に向上の余地はない。 成果指標の2点目である衛生管理市場の認定については、卸売業者との協議及び共同の取り組みにより、衛生管理体制を向上、確定させた後、認定機関からの認定を受けるものであり、こちらも特に向上の余地は無い。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	整備途中の公共施設整備であり、現施設の老朽化の問題からも廃止・休止はできない
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	公共施設の整備であり、他に方法はない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	設計基準に基づき積算された事業費であり、大幅な事業費削減の余地は無い。 なお、震災の影響に伴い、事業内容の見直し等が必要な部分については、可能な限り国の支援制度を活用することとした。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	早期完成を目指して取り組むことから、現状からの人件費削減は困難な状況である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	市の社会資本整備であり、公平・公正である。

事務事業ID	0584	事務事業名	大船渡魚市場整備事業
--------	------	-------	------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 衛生管理、鮮度管理の高度化、安定した水揚量を確保するための魚市場施設の拡充、市民に親しまれる施設整備等、新魚市場整備において掲げた方針は、平成27年度の施設完成を持って、具現化が図られた。今後は、地域水産業の振興が図られるよう、ソフト事業等の取組みが課題である。									
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 魚市場本体及び南側岸壁上屋工事が平成27年度に完了したところであり、平成28年度は、トラックのタイヤ洗浄槽を整備し衛生管理の向上を図る。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし。																							

4 事務事業の2次評価結果

(職名) ※原則として施策の主管課長	(氏名)
2次評価者	水産課 鈴木満広

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(3) 評価結果の根拠と理由 水産物流通拠点の整備事業であり、早期完成に向けて業務を進める																					
(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり										
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 平成27年度の南側岸壁上屋の完成により、新魚市場整備事業は、ほぼ完了した。28年度予算(繰越明許)によりトラックタイヤ洗浄槽を整備し、全事業の完了となる。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 政策推進会議等での指摘事項
